

潮来トライアスロン大会と関東選手権

2013年6月3日

報告者 松丸真幸

大会当日の天候は、涼しく絶好の大会日和だった。スイムはフローティングスタートで、位置取りはアウトコースにした。そして午前8時10分に号砲。川なので流れがあるが、泳ぎやすかった。3位集団で泳いで5番目でスイムアップ。

バイクは、コーナーが多いテクニカルなコースを3周する。バイク2周目で先頭に追い付いてトップに立つ。調子が良かったので体は良く動いた。2周目、3周目も順調に進んだ。バイクを1番で終了しランスタート。

ランは土手沿いを2周する。往路が向かい風だったのできつかった。復路は、追い風なので気持ち良く走れた。2位の選手とだいぶ差がついていたので、翌週の関東選手権のことを考慮して2周目は少しペースを落として走りトップでゴール。タイムは自己ベスト更新だったので良かった。また今年の東京国体の茨城県代表を獲得できた。



関東選手権は、毎年渡良瀬遊水地でおこなわれる。お台場の日本選手権出場枠は、7つだが、今年は2つプラスされて9つになった。昨年は11位で権利を取れず、ロールダウンでギリギリ日本選手権に出場できた。スイムの遅い私にとっては、ドラフティングレースは不利だが、国体も日本選手権も結局、ドラフティングレース。ここは踏ん張りどころ。

出場者は約70名。12時30分にスタート。スイムスタート位置はインコースにした。周りは自分もよりも各上の泳力を持った選手ばかりだ。そしてスタート。一斉に飛び込む。

飛び出すスピードがないのでバトルに巻き込まれる。とにかく必死に泳ぐだけ。1周目を終了。前に大きな集団があり、その後方になんとか引掛かった。その後、バトルは最後まであったものの2周目も順調に泳いで終了。得意のバイクに素早く移る。

バイクは、遊水池を6周する40km。1周目で大きな集団が形成されて、前を走行する選手を次々と飲み込んでいく。20名以上の大きな集団だったが、3周目終了でも、トップの数名の集団とは2分近くあった。私は4周目でペースアップをした。先頭を長く引くのは体力を消耗してしまうが、ここは勝負所だと思った。作戦はうまくいき後半はどんどん差を縮めていき、6周目のラストでアタックをかけて逃げ、先頭集団とは20秒まで詰めた。トランジションを素早くおこない7位でランスタート。

ランは、1周2.5kmを4周回する。1周で3ヶ所の登り坂があるタフなコース設定だ。7位でスタートしたが、すぐに11位まで落ちる。体にキレがなかった。粘って走る戦法でペースを落とさないように心掛けた。前からスピードダウンした選手を拾って、3周終了で5位まで上がる。ラスト1周は、さすがにきつかったが、粘って5位入賞でゴールした。お台場の権利を獲得できたので嬉しい。良いレースが出来た。

連戦できつかったが、目標の国体、お台場の権利を取れたので良かった。

